

17. 妊婦への投与に注意が必要な漢方薬

妊娠中の西洋薬の使用は、胎児への影響を恐れて避けることが多い。漢方薬は一般的に副作用が少ないと考えられているが、使用方法を誤れば様々な副作用が発現する。妊婦への使用の安全性は未だに確立されておらず、当帰芍薬散のように古くから使用され、動物実験で催奇形性がないことが確認されている漢方薬もあるが、多くは経験的判断によって、長い歴史の中で医学的エビデンスを蓄積しながら投与してきた。したがって古典における妊娠病の理論を踏まえ、漢方薬を構成する生薬の薬性を考えた慎重な使用が望まれる。

[妊娠中の漢方治療]

妊娠中に用いる漢方薬の条件としては安胎が必須であり、安胎効果がある生薬や漢方薬は子宮収縮抑制作用があり、安心して使用できる（表1）。

表1 妊婦に安心して使える生薬、漢方薬

安胎生薬	杜仲、人参、白朮、艾葉、陳皮、冬虫夏草、黃耆、黃芩、木香、香附子、秦艽、蘇梗、白芍
安胎漢方薬	当帰散、百朮散、当帰芍薬散、芎帰膠艾湯

また、通常は妊娠中の母体は虚証なので、過度の発汗や瀉下、利尿は避けることを原則とし（表2）、薬性が強い実証向きの生薬（表3）、およびこれらを含有する漢方薬（表4）の使用は慎用薬として原則は避ける。ただし、慎用薬であっても、その薬の目標となる症状（病態）がある場合は危険性はなく、また胎児にも害を及ぼすことがなく使用できる（表5）。その場合は、症状が軽快したらすぐに中止する。

禁忌薬には巴豆、牽牛子、麝香、水蛭、虻虫などがあるが、現在の医療用漢方エキス剤には含まれない。現時点では、少なくとも医療用漢方エキス剤に関しては、妊婦に対する副作用の報告はなく安全であると考えられるが、すべての医療用漢方エキス剤について安全性が確立しているとは言えないため、漫然と投与を続けることは避ける。

表2 妊婦へ禁じられる漢方治療の原則

過度の発汗 → 陽気を損なう	例) 麻黄剤（エフェドリンは末梢循環を損ない、胎盤への血流を損なう）
過度の瀉下 → 陰血を損なう	例) 大黃剤
過度の利尿 → 津液（体液）を損なう	例) 利尿作用のある薬剤

表3 妊婦に慎重投与の生薬と作用

生薬	作用	生薬	作用
乾姜	新陳代謝機能亢進、利尿	大黃	子宮収縮、骨盤内部充血、消炎、瀉下、健胃
枳実	子宮収縮、健胃	桃仁	消炎、鎮痛、驅瘀血、瀉下
紅花	子宮収縮、驅瘀血、通経、鎮痛	薄荷	発汗、解熱、健胃、排膿
厚朴	利尿、去痰	半夏	鎮吐、鎮嘔、鎮咳、去痰
牛膝	子宮収縮、通経、驅瘀血、利尿	附子	興奮、強心、鎮痛、利尿、毒性有
吳茱萸	子宮収縮、健胃、鎮痛、利尿	芒硝	瀉下、利尿、子宮収縮
五味子	鎮咳、去痰	牡丹皮	消炎、驅瘀血、子宮内膜の充血
酸棗仁	神經強壮、催眠	麻子仁	緩下
辛夷	排膿、解熱、鎮痛	薏苡仁	子宮収縮、利尿、消炎、排膿、鎮痛

表4 妊婦に慎重投与の生薬を含む漢方薬（エキス剤）

漢方エキス剤	生 薬	漢方エキス剤	生 薬
胃苓湯	厚朴	清肺湯	五味子
茵陳蒿湯	大黃	川芎茶調散	薄荷
溫經湯	吳茱萸, 半夏, 牡丹皮 (乾姜), 半夏	疎經活血湯	牛膝, 桃仁
黃連湯		大黃甘草湯	大黃
乙字湯	大黃	大黃牡丹皮湯	大黃, 桃仁, 芒硝, 牡丹皮
葛根加朮附湯	附子	大建中湯	乾姜
葛根湯加川芎辛夷	辛夷	大柴胡湯	枳実, 大黃, 半夏
加味帰脾湯	酸棗仁, (牡丹皮)	大柴胡湯去大黃	枳实, 半夏
加味逍遙散	薄荷, 牡丹皮	大承氣湯	枳实, 厚朴, 大黃, 芒硝
帰脾湯	酸棗仁	大防風湯	(乾姜), 牛膝, 附子
芎帰調血飲	牡丹皮	竹茹溫胆湯	枳实, 半夏
九味欖榔湯	厚朴, 吳茱萸, 大黃	治打撲一方	大黃
荊芥連翹湯	(枳實), 薄荷	治頭瘡一方	紅花, 大黃
桂枝加厚朴杏仁湯	厚朴	調胃承氣湯	大黃, 芒硝
桂枝加芍藥大黃湯	大黃	釣藤散	半夏
桂枝加朮附湯	附子	腸癰湯	桃仁, 牡丹皮, 蕙苡仁
桂枝加芩朮附湯	附子	通導散	枳实, 紅花, 厚朴, 大黃, 芒硝
桂枝人參湯	乾姜	桃核承氣湯	大黃, 桃仁, 芒硝
桂枝茯苓丸	桃仁, 牡丹皮	當帰湯	乾姜, 厚朴, 半夏
桂枝茯苓丸料加薏苡仁	桃仁, 牡丹皮, 蕙苡仁	當帰四逆加吳茱萸生姜湯	吳茱萸
桂芍知母湯	附子	當帰芍藥加附子湯	附子
五積散	(乾姜), (枳實), 厚朴, 半夏	二朮湯	半夏
牛車腎氣丸	牛膝, 附子, 牡丹皮	二陳湯	半夏
吳茱萸湯	吳茱萸	人參湯	乾姜
柴陷湯	半夏	人參養榮湯	五味子
柴胡加竜骨牡蠣湯	(大黃), 半夏	排膿散及湯	枳實
柴胡桂枝湯	半夏	麥門冬湯	半夏
柴胡桂枝乾姜湯	乾姜	八味地黃丸	附子, 牡丹皮
柴胡清肝湯	薄荷	半夏厚朴湯	厚朴, 半夏
柴朴湯	厚朴, 半夏	半夏瀉心湯	(乾姜), 半夏
柴苓湯	半夏	半夏白朮天麻湯	(乾姜), 半夏
三黃瀉心湯	大黃	茯苓飲	枳實
酸棗仁湯	酸棗仁	茯苓飲合半夏厚朴湯	枳實, 厚朴, 半夏
滋陰至寶湯	薄荷	附子人參湯	乾姜, 附子
四逆散	枳實	平胃散	厚朴
炙甘草湯	麻子仁	防風通聖散	大黃, 薄荷, 芒硝
芍藥甘草附子湯	附子	補中益氣湯	(乾姜)
潤腸湯	枳實, 厚朴, 大黃, 桃仁, 麻子仁	麻黃附子細辛湯	附子
小柴胡湯	半夏	麻杏薏甘湯	薏苡仁
小柴胡湯加桔梗石膏	半夏	麻子仁丸	枳實, 厚朴, 大黃, 麻子仁
小青竜湯	(乾姜), 五味子, 半夏	薏苡仁湯	薏苡仁
小半夏加茯苓湯	半夏	抑肝散加陳皮半夏	半夏
辛夷清肺湯	辛夷	六君子湯	半夏
參蘇飲	枳實, 半夏	竇胆瀉肝湯	(薄荷)
神秘湯	厚朴	苓甘姜味辛夏仁湯	乾姜, 五味子, 半夏
真武湯	附子	苓姜朮甘湯	乾姜
清上防風湯	枳實, 薄荷	六味丸	牡丹皮
清暑益氣湯	五味子		

()内の生薬はメーカーによって入っていない製剤がある。

表5 妊婦への漢方薬の使用例

病 態	使 用 例
感冒	妊娠中の感冒には香蘇散を第1選択薬とし、必要最小限の短期間の使用に留める。 頭痛、頭重、悪寒、無汗の時期：香蘇散 咳嗽、多痰、鼻汁、鼻閉の時期：參蘇飲 (鼻汁・水溶性の痰：小青竜湯、乾性咳・粘稠な痰：麥門冬湯) 半表半裏の時期（往来寒熱、胸脇苦満）：小柴胡湯、柴胡桂枝湯、柴胡桂枝乾姜湯 葛根湯や麻黃湯などの發汗剤は原則として避けるが、投与する時は、その証が去ればすぐに中止し、過度の發汗を避け、虚脱に陥ることのないよう注意する。
便秘	妊娠中の便秘は虚証の習慣性便秘で、桂枝加芍藥湯、小建中湯などを第1選択薬とする。 瀉下剤（大黄を多量に含むもの）の使用は流早産の危険性があるので慎重に用い、また胃腸虚弱な患者への投与には注意する。 腹痛を伴う便秘：桂枝加芍藥大黃湯（短期間の使用に限る） 頑固な便秘：麻子仁丸、潤腸湯（頓服での使用）
妊娠中毒症	妊娠中毒症の3主徴（高血圧、蛋白尿、浮腫）に対して様々な漢方薬が用いられる。 高血圧：三黃瀉心湯、黃連解毒湯、釣藤散、柴芩湯、當帰芍藥散 蛋白尿や浮腫：五苓散、柴芩湯、當帰芍藥散
妊娠悪阻	小半夏加茯苓湯、半夏厚朴湯、人参湯、六君子湯などを用いる。ただし、半夏は流早産の危険性があるので長期間の使用は避ける。 小半夏加茯苓湯は冷服し、少量宛、何回にも分けて服用する。生姜汁を数滴加えると薬効を増す。 水様性嘔吐：五苓散
鉄欠乏性貧血	妊娠中の貧血に対する漢方治療は、補氣・補血、利水が基本である。 鉄剤との併用を原則とし、當帰芍藥散、十全大補湯、加味帰脾湯を用いる。 造血効果：六君子湯、人参湯 補氣・補血：帰脾湯、四君子湯
瘀血	驅瘀血剤として、桃仁、牡丹皮、紅花、牛膝などを含む漢方薬は流早産の危険性があるので原則として避ける。しかし子宮筋腫の人が妊娠し出血している場合に、証があれば桂枝茯苓丸を用いる。

〔文献〕

- 後山尚久：薬局 57 (8) : 2649, 2006, 治療 85 (1) : 93, 2003.
 青山廉平：現代東洋医学 15 (1) : 132, 1994, 日本医師会雑誌 臨時増刊 漢方治療 108 (5) : 140, 1992.
 赤瀬朋秀ら：月刊薬事 36 (7) : 1647, 1994.
 村田高明：漢方調剤研究 I 5 (1) : 16, 1997, 現代東洋医学 13 (1) : 11, 1992.
 劉 幽萃ら：産婦人科の実際 41 (3) : 397, 1992.
 八重樫 稔ら：日産婦誌 52 (5) : 89, 2000.
 永田郁夫：漢方医薬学雑誌 15 (4) : 92, 2007.